



港区立南山幼稚園

Minato City, Nanzan kindergarten

9月園だより

令和元年9月2日
September 2, 2019
園長 小久保 篤子
Principal
Tokuko Kokubo



自然とのかかわりに豊かさを

「お味噌の匂いになった！」と、ふたを開けたとたん、先生たちみんな思わず歓声。今年も、味噌造りを教えてくださった地域の岡田さんが、暑い夏の間もときどき様子を見に来てくださいました。

今年はどうな味になったか、とても楽しみです。

さて、この夏、私は鳥取県の幼児教育研究会を訪れました。川沿いにくわつも飛んでいるトンボの中にクロトンボを発見しました。胴体が光沢のある緑でとても美しいトンボです。縁起がよいそうです。

鳥取の先生方と「トンボを捕まえて遊ぶことだけでも、幼児期に大事な経験がたくさんありますよね」と、トンボの話をきっかけに、地域によって自然の環境は異なっても、知恵をしばらく自然と関わるために様々な工夫することが大切ということ共有しました。

都会の中にある南山は、幼児が自然と触れ合う機会を大事な経験として教育活動に位置付けています。小さな生き物に出合えるように、あえて雑草をそのままにして虫を呼び込めるような環境を作ったり、虫捕りができるようにカゴや網を用意したり時間を確保したりしています。幼児がじっくりと対象と向き合えるように、対象物によっては飼育して観察ができるようにしています。

幼児期に出合う一つ一つの経験の中に、自然との関わりを豊かにできるように、環境をいかに用意し、時間を確保し、どのように友達同士がかかわることができるのか、教師の腕の見せどころです。

幼児期に何か一つのことに夢中になれるもの、集中できる何かがあることは大事なことです。その経験を積み重ねていく中で子どもたちの興味や関心を少し広げたり、少し深めたりできるようにすることが私たちの役目なのではないかと思っています。

秋の虫や草花など南山の園庭には少しずつ秋が訪れています。

2学期も、子どもたちの遊びや生活が充実するように教育活動を進めてまいります。保護者の皆様、引き続き、ご理解、ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

「いい味噌になってきたよ」と岡田さん



↓クロトンボ



夏の間の工事 終了
↓職員室は明るく



↓外壁はフェンスに



